

富山湾の底質と底生生物を調べる

研究分野

- ・ 漁場の環境を守る

ねらい

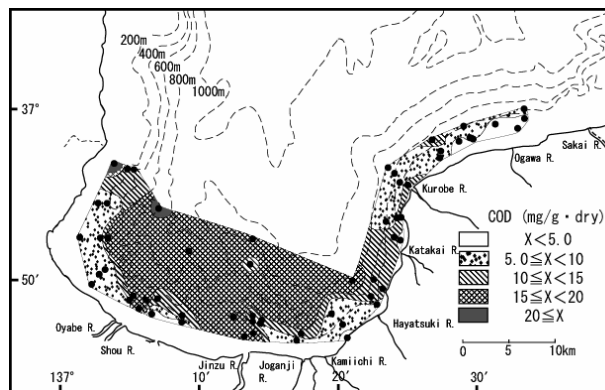
- ・ 富山湾の海底の環境を知るために、湾内全域の底質を調査しました。
- ・ 海底にすむ底生生物（ゴカイ、貝、小型エビ・カニ類等）は魚介類の餌となるばかりではなく、底質の浄化機能もあわせもっていることから、底生生物の分布状況を調査しました。

成果

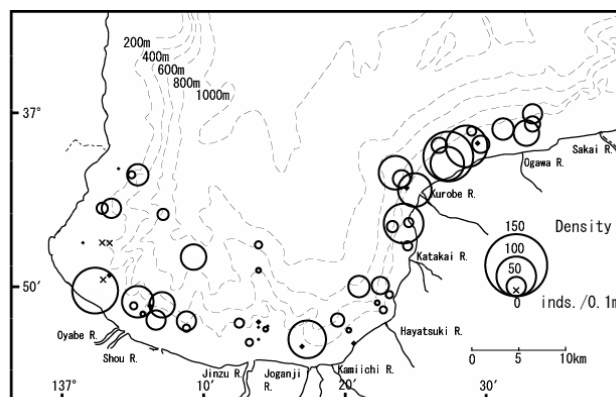
- ・ 底質の有機汚濁の指標となる COD（化学的酸素消費量）の分布は図 1 のとおりで、小矢部川、庄川、神通川の流れ込む海域と水深の深い湾中央部において COD 濃度が高く、15～20mg/g 乾泥の範囲でした。
- ・ 富山湾における底生生物の個体数の密度は、0～124 個体/0.1m² の範囲でした（図 2）。
- ・ 底生生物の分布状況は、富山湾東部と小矢部川・庄川河口海域で高く、氷見沖と神通川河口海域で低い傾向がありました。

活用

- ・ 富山湾の環境を守るため、底質と底生生物を調べ、各種施策に反映します。



【図 1 富山湾の底質（COD）の分布】



【図 2 底生生物の個体数密度分布】

研究実施期間 平成 13 年度

問い合わせ先 富山県水産試験場 (076-475-0036)